



向尾舟字文

八遠  
1246



門へ13  
舞1246  
卷 1

高尾船字文

凡例

静山

静山

此書や戲房ハ唐士乃稗説小做し戲廂ハ  
日本の演史を引く故子又中通俗めいなる院本  
めいなる何りぞうめいなるあり孔明なる様五てくまると  
迫ること機関乃糸結如く花子が唇小似たり  
至意ハ楽天が詩又素れどく熈婆さぬ小も解  
易とことし聊珍珍韓退之が威のむら地を

形めば愛紙以て志者長口序不教紙を  
 費ん人事を厭ひ今様と習く序を不書通  
 墨斗の秃筆を操く板本の接ふ虫付て曰  
 天正本を空しするを勿ま時不凡例あり  
 あらば

寛政捌丙辰年孟春書於雜貨店帳合之暇

曲亭馬琴



高尾千字文第一冊

○ 洪氏過く實方乃廟と因く

附 矢小従の水滸傳 其發端、靈魂荏  
 是、戲文の先代萩

○ 宮戸川よ雷嶺門よ遇ふ

附 矢八九段就建 其王進、角融師  
 是、嶺門谷蔵傳

絹川谷藏

生國門等東

縞

満身都

黒鷲

竊

観正札貴

男一足絹川



長手

高尾ふ字文才一冊

洪氏あやまらく実方の廟をひく

この夜永十二年皇利將軍満公法正巡察使と立

多一國の政務を平らむるに巡察使中名洪氏英利なり

洪氏松竹の徳をちり雄を出が破重君禪師の老居とのわ

るに古語と見えけり瑞光ちん七重伽藍の丈ちんそ

公法お徳の秀徳あり洪氏け瑞光ちん一宿りたそ

ねもすてはまらるるに西よりくるて人の叫ぶ声

きこられぬ氏これとお中にお徳を伝ふるの徳を

乃らふ。信ち志づく。考之上。は乃あ申。このおもむき。  
これいふ方。此霊あり。むう。二條の院。お住。中納言方。  
むの霊の住。遷され。せ。さ。おと。さ。ひ。あ。ひ。し。の。一。靈。  
悪魔とあり。高玉に降伏。とな。と。中納言。お廟。と。立て。  
その具。魂。と。ま。る。と。ゆ。こ。こ。り。れ。洪。氏。と。ぞ。お。知。し。我。  
中納言。お方。方。小。宗。大。納。海。時。の。あ。く。世。よ。か。く。と。  
おれ。か。く。あ。く。は。く。と。中。納。言。の。境。へ。高。玉。と。な。り。何。ぞ。  
善。悪。の。廟。へ。と。な。り。て。け。瑞。岩。と。な。り。ま。つ。の。と。く。あ。り。ふ。  
う。い。て。我。え。ま。く。と。症。と。な。れ。ば。信。ち。も。洪。氏。の。ま。お。さ。て

あ。け。と。中。納。言。の。意。と。な。り。ふ。た。あ。く。石。と。め。て。中。納。言。  
刻。と。の。卷。の。上。に。二。の。石。牌。と。な。り。中。納。言。方。れ。境。と。  
あ。く。く。う。石。の。す。め。め。あ。く。と。な。り。出。り。く。が。中。納。言。  
け。角。と。な。り。連。の。傳。教。と。な。り。信。ち。洪。氏。と。な。り。昔。  
中。納。言。方。の。成。つ。と。口。傳。の。あ。や。ま。り。ふ。く。高。玉。に。た。な。り。  
あ。く。中。納。言。方。と。な。り。恨。と。な。り。我。お。の。ま。の。と。成。と。も。と。な。り。  
あ。く。高。玉。と。な。り。信。ち。の。ま。の。と。な。り。人。の。害。と。な。り。と。  
信。ち。の。ま。の。と。な。り。あ。く。あ。く。中。納。言。方。の。世。の。時。つ。ひ。け。け。と。な。り。  
信。ち。の。ま。の。と。な。り。信。ち。と。な。り。我。お。の。ま。の。と。な。り。と。



年迄あり。はげ塚をむしりてをり。人々昔のふまふまよ。  
流あわらう用をあらう。あまの洪氏流し遇わす別れぬ勇  
りや人と下知して流しるがまよ。ひのきもたれがらふるは河坑  
あり。只言く。ととの流しをあら。洪氏人まよ。松明をたきせ。  
河の中をこころんとせ。おに俄に数子おれ。中とるまよ。破るが  
とまよ。あまの。河の中より白氣立ちのり。数十羽の雀飛び  
上り。はげ氏にむらり。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
り。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。

侍の中兵衛十八と云ふ。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。

文戸川の雷まぬ川よあま

應永十六年。皇利を流し去る。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。  
あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。







忘ひし片懐く。その昔思ひつゝ。いふまゝにめく  
考回す。一。その中。在る物と如く。あつて。母も。仁まが祖丸  
侍も。仁まとあゝあゝと。女大切の羽衣と。法を。御  
の籠か。うらやせ。え。うら。彼が。當り。は。あら。の。ま。れ。毛。肌  
あ。う。ら。い。う。ひ。な。り。ま。ら。け。は。い。せ。お。い。さ。は。と。河。を。は。じ  
る。保。め。れ。仁。ま。も。母。ま。が。せ。し。物。を。討。て。あ。る。家。族。の。よ。は。に  
な。れ。の。ひ。り。う。あ。る。ま。は。城。の。塔。を。提。お。り。あ。り。ん。と。  
か。れ。と。あ。つ。け。と。の。方。只。今。す。め。考。回。す。金。板。の。形。も。祖。丸  
い。ま。あ。る。今。夏。い。ま。あ。る。ま。は。也。と。い。ふ。の。く。い。ま。あ。る。と。い。ふ。

移らじき。あつて。入。り。ぬ。雷。の。仁。ま。の。母。め。ら。れ。た。母。の  
こ。も。あ。つ。た。母。の。あ。つ。た。雷。の。ま。ら。う。今。の。母。の。仁。ま。の。よ  
す。お。こ。う。の。功。あ。つ。と。立。身。世。一。又。お。い。ま。あ。つ。と。い。ふ。  
の。の。あ。つ。と。い。ふ。と。の。あ。つ。と。い。ふ。と。の。あ。つ。と。い。ふ。と。  
何。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。  
母。の。あ。つ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。  
の。あ。つ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。  
と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。  
と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。





金持のついでに...  
御守と澄ぐんと...  
世のついでに...  
母の病氣...  
世のついでに...  
母の病氣...  
世のついでに...  
母の病氣...

金持のついでに...  
御守と澄ぐんと...  
世のついでに...  
母の病氣...  
世のついでに...  
母の病氣...  
世のついでに...  
母の病氣...

致したるの故に播磨の陸軍と雖も千  
五萬ものものと書くる。けしきも  
其の谷は谷の今もあはれさう  
りくをれが二男として谷を  
別々のものと高の業と種ひ  
あれ角力とより谷角とより  
たぬとより一國領のよと  
は深き山物ぞと出づ後せん  
一家ののり國やと申す

國領の故と云ふ。又作谷義と申す  
これ相立村徳門地のけれも  
りあり。遠向のあづかい谷義  
り知ことれ。秋とす角力  
り谷義と申す。谷義と申す  
つひ谷義と申す。谷義と申す  
らとて親父名もたれ



さらばもまた松橋の上をたゆむごとく。あちりくあち  
 りせり。もなきいんて谷落。子と組付く。樹うけ。雷とてうけ  
 とあて。すく。投あて。投とて。雷らよ。あしりら。今谷落をむく。投  
 て。軟ら。まか。真とあり。世話。あり。う。甲斐もほ。あ。そ。ば。よ  
 投。あ。の。と。う。り。と。い。ら。づ。い。ん。ぐ。ま。る。と。撲。あ。う。け。こ。一。也。獲。ま。り  
 ま。一。あ。つ。度。守。り。速。ら。と。ん。ま。し。ん。や。在。ま。ぬ。一。と。一。多。谷。落。が。  
 解。と。ら。う。く。後。ら。く。せ。い。と。と。れ。谷。落。雷。ふ。あ。ま。さ。と。う。い。ま。こ  
 作。の。ま。よ。と。後。の。中。大。の。ま。あ。つ。谷。落。ゆ。り。く。起。ま。う。と。れ。ぐ  
 眼。あ。り。あ。ぐ。か。う。す。直。傳。と。な。せ。ぬ。あ。れ。の。ご。ん。い。す。ん。せ。り。は。あ。ま。さ

べし。い。ん。ご。う。も。あ。つ。落。雷。あ。つ。く。捨。棒。や。う。開。か。さ。い。は。投。ま。り  
 け。と。一。あ。ま。さ。つ。い。ま。り。れ。雷。も。谷。落。が。あ。ら。う。と。い。ひ。ま。後。の  
 上。の。あ。れ。も。一。と。接。接。と。あ。つ。く。と。ま。ま。大。や。ま。あ。つ。び。活。ま。あ。つ。り。か  
 降。れ。あ。つ。ま。は。は。か。る。こ。れ。う。と。ま。あ。つ。く。ま。ま。と。う。り。落。雷。も。い。落。雷。も。  
 十。八。般。の。ま。ま。あ。つ。く。秘。家。と。は。い。だ。谷。落。う。い。ま。あ。つ。れ。谷。落。あ。つ。ま  
 大。ま。よ。あ。つ。び。あ。つ。く。あ。つ。ひ。と。あ。つ。り。の。年。も。落。雷。も。ら。ま。ま。あ。つ。り  
 祝。と。う。不。平。月。か。ん。地。と。あ。つ。け。り。あ。つ。ま。の。あ。つ。病。あ。つ。り。終。り。あ。つ。り  
 あ。つ。り。れ。谷。落。が。あ。つ。ま。あ。つ。り。れ。然。傷。い。ん。ぐ。あ。つ。か。く。と。も。あ。つ。り  
 と。あ。つ。り。あ。つ。く。世。邊。の。あ。つ。り。と。い。ま。あ。つ。り。あ。つ。一。冊。の。煙。と。い。ま。あ。つ。り







